

職務経歴書

令和3年12月1日
山田 花子

【職務概要】

産婦人科、腫瘍内科、血液内科の混合病棟で4年間、消化器内科、整形外科、神経内科の混合病棟で3年間看護業務に従事してきました。リーダー業務、プリセプター業務のほか、院内委員会(緩和ケアサポートナース)での活動経験もあります。

【職務経歴】

平成26年4月～平成30年3月

医療法人○△□会 ○△病院

病床数:一般700床

診療科目:内科、精神科、神経内科、消化器内科、消化器外科、循環器科、呼吸器内科、小児科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、麻酔科、口腔外科、産婦人科、腫瘍内科、血液内科

配属先:産婦人科、腫瘍内科、血液内科の50床の混合病棟

業務内容:・婦人科疾患(手術療法、放射線療法、化学療法)のケア
・血液疾患患者の化学療法やケア
・がん患者の化学療法やターミナルケア
・プリセプターとして新人教育を担当

平成30年4月～現在

配属先:消化器内科、整形外科、神経内科の50床の混合病棟

業務内容:・消化器疾患(内視鏡治療、放射線療法、化学療法)のケア
・整形外科手術の術後ケアやリハビリテーション、退院指導
・神経疾患の輸液管理や日常生活指導、ケア
・病棟チームリーダー
・看護研究として「膵臓がん患者の倦怠感に対するケアの効果」を発表

【知識やスキル】

- ・混合病棟での様々な疾患の看護業務の知識・スキル
- ・術後患者や化学療法を受けた患者の退院後を見据えた患者様の生活指導スキル
- ・多職種カンファレンスの立ち上げなど、多職種とも連携して業務改善を目指せるチームワーク、調整力
- ・院内委員会(緩和ケアサポートナース)のリンクナースとして、病棟での緩和ケアの普及や勉強会を調整

【自己PR】

これまで混合病棟で7年間、様々な疾患の看護の経験を積んできました。手術療法、科学放射線療法、終末期ケアなど、あらゆるステージの患者の看護を経験してきました。特に、がん患者のケアには診療科を超えた様々な職種が関わることが必要で、質の高いケアを提供するために、病棟で多職種カンファレンスを立ち上げました。また、院内委員会では、病棟の緩和ケアチームリンクナースとして、病棟の患者に対する緩和ケアの普及や病棟看護師に対する勉強会の実施の調整を行い、ケアの質の向上に貢献してきました。

こうした経験を貴院でも活かし、慢性期や終末期の患者さんの看護や多職種との連携、コミュニケーションを通して、患者さんに安心して自宅で日常生活を送れるような、質の高い看護に貢献していきたいと思っています。

以上